

令和6年度 静岡市教育委員会の取組

たくましく しなやかな 子どもたちを育てるために



静岡市教育委員会

「第3期静岡市教育振興基本計画」

(計画期間:令和5(2023)年~令和12(2030)年度)

本市が目指す「たくましく しなやかな 子どもたち」を育てるために、
4つの基本的な方向性のもと、19の施策を展開していきます。



第3期静岡市
教育振興基本計画

方向性 1 **【子どもの知・徳・体の育成】**
 急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

- 施策**
- ①総合的な学力の向上
 - ②豊かな心・感性の育成
 - ③健やかな体づくり
 - ④静岡市民を育てる教育(シティズンシップ教育)
 - ⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成
 - ⑥特色ある小中高等学校教育の推進
 - ⑦教育DXの推進
- 主な取組**
- 学力向上支援策の推進
 - 地域・企業等と連携したキャリア教育の推進
 - 人権教育や生命を大切にする教育の推進
 - 食育の推進
 - しずおか学の推進
 - 英語を活用したコミュニケーション力の向上
 - 静岡型小中一貫教育の推進
 - 特色ある高等学校教育の推進
 - 学校教育におけるICTの活用

方向性 3 **【教育環境の整備・充実】**
 安全安心で魅力ある教育環境の整備と、信頼される学校づくりを進める

- 施策**
- ①安全安心の確保
 - ②市アセットマネジメント基本方針に則った教育施設の整備
 - ③ICT環境の整備・充実
 - ④質の高い教職員の確保
 - ⑤教職員の資質向上と働き方改革の推進
 - ⑥地域と協働した学校の運営
 - ⑦学校の適正規模化
- 主な取組**
- 健康面での安全安心の確保
 - 防災教育の推進
 - 小中高等学校施設の整備
 - 教職の魅力発信による質の高い教職員の確保
 - しずおか教師塾の運営
 - 静岡型教職員多忙解消プログラムの推進
 - 教職員の資質の向上
 - 静岡市型35人学級編制の推進
 - 小中学校適正規模・適正配置の推進

方向性 2 **【一人ひとりの幸福の実現と多様性の尊重】**
 誰もが幸せを感じながら生き生きと輝く、多様性を尊重した教育を推進する

- 施策**
- ⑧特別支援教育の推進
 - ⑨個々のニーズに対応した教育の推進
 - ⑩教育機会の均等の確保
- 主な取組**
- 特別支援教育の推進
 - 悩みを抱える児童生徒に対する支援の充実
 - 外国人児童生徒支援
 - 就学援助、奨学金の貸与・給付
 - 教育格差を生まないための支援の推進

方向性 4 **【協働してつくる持続可能な学びの推進】**
 地域全体で学び合い協働する環境づくりを推進する

- 施策**
- ⑪学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援
 - ⑫人生100年時代を支える豊かな学びの充実
- 主な取組**
- コミュニティ・スクールの導入・地域学校協働活動の推進
 - 部活動改革の推進
 - 図書館サービスの推進
 - 歴史・文化の振興・発信
 - スポーツ活動の推進
 - 高齢者学級、家庭教育学級、女性学級の開催

本計画に基づいて、
令和6年度の教育委員会の主な取組
についてご紹介します

教育DXの推進

GIGAスクール構想の推進

ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進を図るとともに、子どもたちが主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう授業改善に取り組んでいきます。



端末の活用場面

静岡市GIGAポータルサイト

市内小中学校のICT活用の取組が掲載された『静岡市GIGAポータルサイト』

令和6年度の主な取組

- ・GIGAスクール運営支援センター(ヘルプデスク)による教員支援
- ・ICT支援員による学校支援
- ・通信環境が整っていない家庭への支援 (モバイルWi-Fiルーター及びSIMカードの無償貸与)
- ・学習者用端末故障対応

デジタル時代を生きる子どもの規範意識、資質、能力の育成

子どもたちが情報社会へ参画し、これからの情報社会を担っていけるよう、情報モラル教育及びデジタル・シティズンシップ教育を進めていきます。

仲間との話し合いの中で、情報のリスクを自分ごととして捉えながら、「トラブル対応」や「1人1台端末を自在に使いこなすための「活用スキル」を学んでいきます。

令和6年度の主な取組

- ・活用型情報モラル教材「GIGAワークブックしずおか」の活用



GIGAワークブックしずおか

【方向性1 子どもの知・徳・体の育成】

急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

静岡型小中一貫教育の推進

各小中一貫教育グループが「目指す子どもの姿」を地域・保護者と共有し、「小学校と中学校(たてのつながり)」と「学校と地域(よこのつながり)」を大切に、9年間の一貫した学びを通して「つながる力」を育てるとともに、地域ならではの特色ある教育活動に取り組むことにより、地域社会や世界で活躍する子どもを育成していきます。



小学生と中学生の交流 すんぷタイムの学び
【城内中グループ】



地域ボランティアの方々へインタビュー
【由比中グループ】

令和5年度の取組効果

- ・小・中の交流や小・小の交流等があると中学進学不安はやわらぐ児童生徒の割合(70.1%)
- ・地域や社会をよくするために何かをしたい生徒の割合(69.1%「全国比+5.2%」)

令和6年度の主な取組

- ・全てのグループ校で、地域と学校が共有した目指す子どもの姿の実現に向けて、成果指標につながる学校評価、地域ならではの特色や、たてのつながり・よこのつながりの更なる強化



静岡型小中一貫教育取組例
【市HP】

43グループの取組の様子は
このQRコードから
ご覧いただけます。(随時更新)

国内外でグローバルに活躍できる人材の育成

英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(英語力の向上)

異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情をもちながら国際的に活躍できる子どもを育てます。

令和5年度の取組効果

- ・「GETのおかげで外国語や外国の文化について詳しく学ぶことができている」と回答した児童の割合(93.2%)
- ・「ALTとのチームティーチングで児童生徒のコミュニケーション能力が向上したと思う」と回答した学校の割合(98.4%)

令和6年度の主な取組

地域人材・GETを授業において効果的に活用

- ・小学校3、4年生の外国語活動の授業支援(1学級あたり週1時間)
※GET(Global English Teacher)・・・英語が堪能で海外生活経験等がある地域人材

ALTを授業内外において効果的に活用

- ・ALTとの英語によるコミュニケーション活動により、英語が実際に伝わった喜びを子どもたちが味わえるよう学びをサポート
- ・ALTと英語で活動する「イングリッシュキャンプ」、ALTと放課後等に気軽に英会話を楽しむ「イングリッシュカフェ」の実施



児童生徒のコミュニケーション活動を
ALTがサポートする様子

しずおか学の推進

地域や本市に愛着と誇りを持つ市民を育てるとともに、広く社会や世界に目を向けて、その発展に寄与する人材の育成を目指す郷土を舞台とした学習を行います。

令和6年度の主な取組

- ・地域の特色に合わせて、各グループで独自のカリキュラムを実施
- ・しずおか学を学んだ子どもたちを「静岡市こどもPR隊」として認定



明日香村石舞台古墳で、地域に伝わる
羽衣の舞と謡を披露 【清水五中グループ】

総合的な学力の向上

子どもたちが総合的な学力を身につけるために、「わかった」「できた」「活用できた」を実感できるような授業改善の取組に加えて、基礎的な学力に課題を持つ子どもへの学力向上支援や、主体的で多様な学び方に対応する学校図書館づくりを目指していきます。

学力アップサポート事業

小学校に学習支援員を派遣し、学習内容の定着に不安がある小学5、6年生の子どもたちを対象に放課後、算数の学習支援を実施します。個別支援により学習意欲と基礎的な学力を向上させることで、子どもたちが不安を残さず、自信を持って学習に取り組めるようになることを目指します。

令和6年度の主な取組

- ・市内の小中学校30校程度に支援員を配置
- ・小学5、6年生約400人に対し、算数の学習支援実施



学習支援員による個別支援

学校図書館教育の推進

情報活用能力や論理的思考力の育成を目指し、学校図書館の平準化・高度化を進めています。「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての機能を生かし、子どもたちが安心して読書をしたり、本やICTを活用して主体的に学習したりする場を提供できるよう、学校司書を配置し、環境整備や授業支援に取り組んでいきます。

令和6年度の主な取組

- ・学校司書の全校配置(専任105校、中山間地兼務13校)
- ・学校図書館ポータルサイトを活用した授業実践や読書活動事例等の発信
- ・教員や学校司書を対象に、本とICTを活用した授業づくり等の研修
- ・中山間地の学校図書館の整備とオンラインによる資料探し等の支援



学校図書館ポータルサイト



端末を使ってお気に入りの本を紹介する授業

健やかな体づくり

学校給食における有機・規格外^(※)農産物の活用事業

静岡市内産の有機・規格外農産物を学校給食の献立として提供することで、次の世代を担う子どもたちが、将来の「食料」や「農業」を考え、自らの食を選択する力の育成を目指します。そのために、生産者や加工業者と協力して取り組んでいきます。
※市場の規格に合わない形やサイズ、色合いの農産物

令和6年度の主な取組

- ・有機・規格外農産物を活用した給食献立の提供
- ・SDGsの視点にたった持続可能な食と農を考える食育の実施



しよつかんくん



学校給食ウェブサイト



おいしい給食

静岡市のお茶を活用した食育の推進事業

地産地消の一つとして、小学校の子どもたちを対象に、静岡市内産茶葉を食育の「生きた教材」として提供します。静岡市のお茶の歴史や生産過程の工夫等を学んだり、学校生活を通して味わったりして、静岡市のお茶への関心を深め、その魅力を発信できるよう取り組んでいきます。

令和6年度の主な取組

- ・給食の時間を含む学校生活を通して静岡市内産の茶葉から煎れたお茶を味わう環境作り(児童1,000人程度)
- ・静岡市のお茶を通じた学びのサイクル(「学ぶ」「選ぶ」「体験」「発信」)の実施



両河内地区の茶畑

学校プール向上研究

子どもたちの資質・能力の向上を目指し、外部団体と連携しながら、安定した環境で充実した水泳授業を行うことができるよう研究を進めていきます。

令和6年度の主な取組

- ・外部団体と連携した実証研究(8校)



外部団体と連携した水泳授業

【方向性1 子どもの知・徳・体の育成】

急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

特色ある高等学校教育の推進

生徒の能力・適性・興味・関心等の多様化に応じた特色ある教育が求められる高等学校教育において、進学や就職に向けた生徒のニーズに対応し、一人ひとりの個性や能力を伸ばす魅力ある教育を推進します。

高等学校改革の推進

新しい学力観を備えた教職員と専門的な知見を備えた各界の専門家のコラボレーションにより、地域の資源を生かした実学的な学びを実践することで、未来の静岡の創り手を育成していきます。

令和6年度の主な取組

- ・令和5年度に策定した、スクール・ミッション(存在意義)・スクール・ポリシー(教育活動の方針)に基づいた各高等学校における取組の検討・実施



高校教員と検討委員によるディスカッション

静岡市立高等学校



先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力を培うことが求められている中、「科学的リテラシーをもって解決困難な課題に立ち向かえる人材」を育成するため、理数科教育を軸とした探究活動の深化を図ります。

令和6年度の主な取組

- ・大学での実習やフィールドワーク、専門家による講演等の実施
- ・TA(ティーチングアシスタント)等の協力による科学英語等の実施
- ・「市高科学教育プログラム(通称ISEP)」による探究活動の実施



静岡市立
高等学校
ホームページ



普通科の「SS探究」授業

清水桜が丘高等学校



普通科と商業科それぞれ様々な探究活動を行っており、地域との協働により生徒自らが主体的に課題を発見、解決し、その資質・能力を育成、かつICT機器を効果的に活用した教育に取り組んでいます。

また、部活動も盛んで、スポーツ、文化系いずれも各種大会で活躍しています。
【令和5年度 全国大会出場】
女子ハンドボール部、ワープロ部、棋道部(将棋)

令和6年度の主な取組

- ・1人1台端末の推進(BYAD)、ICT機器を効果的に活用した課題探究型授業の推進
- ・様々な探究活動における地域連携型探究学習の実施
- ・進路指導の充実(普通科:特進クラスの設置、商業科:就職率100%、商業資格をいかした進学)



清水桜が丘
高等学校
ホームページ



ICT機器を活用した課題探究型授業

静岡市民を育てる教育(シティズンシップ教育)

校則の見直しの推進

子どもたちや保護者、学校関係者の意見も取り入れながら校則や学校のきまり等を見直すことにより、子どもたちが様々な考え方に触れる過程を大切に、主体的、意思決定、課題解決の力を育み、一人ひとりが互いに尊重して認め合い、積極的に社会参加することができる人材の育成を目指します。

令和6年度の主な取組

- ・子どもたちが「主体的」に校則の見直しに取り組む機会の継続設定
- ・教職員研修の実施:実践事例動画「新しい生徒指導とルールメイキング」の活用



実践事例動画「新しい生徒指導とルールメイキング」

自然の家活用事業

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

南アルプスユネスコエコパークの教育拠点として、ユネスコエコパークの理念に沿った教育プログラムを展開しています。テント泊、ハイキング、野外炊飯など自然を満喫しながら体験を通して学ぶ場を提供します。

令和6年度の主な取組

- ・「トム・ソーヤ事業」の実施(年6回)
- ・大自然を満喫しながら参加者の絆を深める主催事業の実施(年11回実施)



井川自然の家
facebook



力を合わせてカレー作りに挑戦(トム・ソーヤ事業)

悩みを抱える児童生徒に対する支援の充実

不安や悩みを抱える子どもが安心して学校に通い、充実した生活を過ごすことができるよう、子どもやその保護者一人ひとりに寄り添った支援体制を充実していきます。

健康観察アプリの導入

1人1台端末に健康観察アプリを導入し、教職員が児童生徒の心身の状態を速やかに把握することで、適切な支援につなげます。

令和6年度の主な取組

- ・9校(小学校6校 中学校3校 約2,800名)に導入
- ・小学3年生から中学3年生までの7学年で実施



心と体の健康観察アプリ(入力風景)

教育相談員の配置

教室で過ごすことに困難を抱える子どもや不登校の子どもに対し、教室以外の居場所として、校内のサポートルームの整備を拡充し、教育相談員を配置して、子どもへの相談対応や学習支援等を行います。

令和6年度の主な取組

- ・教育相談員の配置 小学校22校(R5:16校)、中学校35校(R5:35校)



サポートルーム(作業スペース)の様子

訪問教育相談員の配置

不登校の子どもやその家庭を訪問し、その子どもや保護者の孤立感を解消します。その子の気持ちや行動に変化が見られたときは、校内のサポートルームや各区の教育支援センターなど、その子のニーズや特性、状況にあった居場所に繋がります。

令和6年度の主な取組

- ・訪問教育相談員12名配置(R5:12名)



家庭訪問の様子(ゲーム等で関係構築)

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置

学校が心理や福祉の専門家と連携することで、組織的な相談機能を高め、子どもが抱える悩みや不安、いじめ問題などの解消に向けて支援を行っていきます。

令和6年度の主な取組

- ・小中学校及び市立の高等学校への配置

SC※1 : 39名(R5:39名)

SSW※2 : 15名(R5:15名)

※1 スクールカウンセラー ※2 スクールソーシャルワーカー

令和5年度のSC・SSWが関わったケース例

- ・人間関係の悩みを抱えている生徒へ共感的に寄り添い、解決策を一緒に考えたことで、本人が前向きになった。
- ・生活困窮となった家庭に対し、状況に応じた福祉制度を活用することで、生活立て直しの一助となった。

こころの教育支援事業

非常勤講師やパート看護師を配置・派遣し、いじめや不登校等に迅速かつ確実に対応していきます。

令和6年度の主な取組

- ・非常勤講師(24人工)及びパート看護師(6人)を配置

子ども若者相談センター

困難を抱える子ども・若者にかかる相談や、不登校児童生徒のための教育支援センターの運営、ヤングケアラーの支援等を行います。

「子ども・若者のことについて相談したい。でも、どこへ相談したらいいのか分からない。」
というとき、お気軽にご相談ください。



概要【市HP】

教育機会の均等の確保

社会的・経済的な事情や置かれた環境等に関わらず、全ての子どもが等しく充実した教育を受けることができるよう、多様な支援の充実を図ります。

奨学金貸付事業、奨学金給付事業

市の発展に資する優秀な人材を育英するため、奨学金の貸与や、修学困難な学生・生徒に対し、教育奨励費として奨学金の給付を行います。

令和6年度の主な取組

- ・社会の背景や市民のニーズを踏まえた制度の見直しの検討



奨学金について【市HP】

就学援助事業

経済的に就学困難な世帯に、学用品費、給食費などの一部を援助します。

遠距離通学補助事業

市立小中学校に一定距離を超えて通学する児童生徒の保護者に対し、通学のために必要な費用(バス定期代または通学用品代)を補助します。

特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする子どもたちの自立や社会参加に向けて、子ども一人ひとりの可能性を最大限伸ばすための体制整備を進めるとともに、特別支援教育のさらなる充実を目指します。

医療的ケア看護職員の配置

医療的ケアが必要な児童が安心して学校生活を送ることができるよう、医療的ケアを行う看護職員を配置します。

令和6年度の主な取組 ・医療的ケア看護職員9名配置(R5:7名)



医療的ケア看護職員による医療的ケア

自閉症・情緒障害学級への非常勤講師の配置

児童が「できた」「わかった」の充実感を学習面や生活面で得られるよう、自閉症・情緒障害学級のうち7名以上かつ4学年以上の児童が在籍している学級に非常勤講師を配置します。

令和6年度の主な取組

・非常勤講師10名配置(R5:9名)



1学級で担任(手前)と非常勤講師(奥)とで授業を分担

特別支援教育支援員の配置

特別な支援を必要とする子どもたちの日常生活や学習上のサポートをするために、小中学校に特別支援教育支援員を配置します。

令和6年度の主な取組

・特別支援教育支援員235名配置(R5:233名)



特別支援教育支援員による学習支援

城内中学校エレベーター等整備事業

肢体不自由のある生徒などが、学校生活を安心して過ごすことができる進学先の1つとして選択できるよう、エレベーターおよびスロープなどの整備を行います。

令和6年度の主な取組

・城内中学校へエレベーター等を設置



エレベーターによる移動支援(イメージ)

特別支援教育アセスメント支援

個別の教育支援計画作成ツール、研修ツール(教材閲覧サイト、研修動画)をモデル校で活用し、次年度以降の活用について検討します。

令和6年度の主な取組 ・導入校数4校(小学校2校、中学校2校)

外国につながるのある児童生徒の支援体制の充実

外国につながるのある児童生徒が、できるだけ身近な場所で日本語を習得するための指導・支援を受けることができ、安心して学ぶことができる体制を整えます。

また、受け入れ側の学校において教職員や子どもたちの多文化共生意識を高めます。

取組効果(令和5年度アンケート)

- ・「学校が楽しい」と回答した児童生徒の割合 90%
- ・「授業が分かるようになった」と回答した児童生徒の割合 64%
- ・日本語指導教員、日本語指導員が、在籍学級の担任と情報共有することで、より効果的に児童生徒が日本語を学べる環境が整ってきたと多くの学校から寄せられた。

令和6年度の主な取組

- ・日本語指導教室の運営及び訪問指導の実施(市内4教室及び対象校)
- ・通訳を派遣し、子どもの学習や生活について母語で相談できる適応相談の実施
- ・多文化共生の意識醸成に向けた教職員研修等の実施
- ・教職員向けに日本語指導だよりを発行することによる多文化共生の周知
- ・児童生徒、保護者に対しての高校進学ガイダンスの実施
- ・小学校入学前の年長児と保護者を対象としたプレスクールの実施



外国人児童生徒等支援事業【市HP】



日本語指導教室での初期指導



学習支援の様子

市アセットマネジメント方針に則った教育施設の整備

老朽化が進む学校施設の日常的な修繕や改修等を実施するとともに、空調設備の設置、トイレの洋式化や省エネルギー化など新しい時代の学びを支える安全安心で快適な教育環境の整備を進めていきます。

小中学校特別教室空調設備整備事業

夏場の暑さから児童生徒の健康を守り、快適な教育環境の整備を進めるため、小中学校の特別教室に空調設備を設置します。

令和6年度の主な取組

・工事 中学校41校 ・設計 小学校72校、中学校41校



空調設備を設置した特別教室(イメージ)

小中学校体育館スポットクーラー設置事業

体育館での授業等において、緊急かつ即効性のある熱中症対策として、スポットクーラーを設置します。

令和6年度の主な取組

・小学校72校 中学校43校



体育館に設置したスポットクーラー(イメージ)

小中学校校舎トイレリフレッシュ事業

老朽化し衛生的な環境の保持が困難なトイレについて、誰もが利用しやすい清潔で快適なトイレへの改修(便器の洋式化、給排水設備の更新等)を、加速化して進めていきます。

令和6年度の主な取組

・工事 中学校4校、小学校8校 ・設計 中学校8校、小学校16校

洋式化の進め方など
【動画(市HP)】



改修後のトイレ

市立高等学校・市立清水桜が丘高等学校 体育館空調設備整備事業

生徒が健康で安全安心に学校生活を送ることができるよう、熱中症リスクの高い体育館に空調設備を設置することで、環境改善に取り組んでいきます。

令和6年度の主な取組

・両校における体育館空調設備設置のための設計委託

市立高等学校校舎トイレリフレッシュ事業

老朽化し、衛生的な環境の保持が困難なトイレについて、利用しやすい快適なトイレへの改修(便器の洋式化、床の乾式化、給排水設備の更新等)を行います。

令和6年度の主な取組

・中央館(東系統)改修工事

学校の適正規模化

令和5年3月に改定した「静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針」に基づき、子どもたち同士で切磋琢磨できる、少なすぎず多すぎない一定規模の児童・生徒の集団を確保するため、特に子どもの人数の減少が著しい地域をはじめとする過小規模の学校について、適正規模・適正配置にさらに取り組んでいきます。

また、学校と地域・保護者の皆さんが自分たちの学校の適正規模化に向けた検討を始める場合に、教育委員会が支援していきます。

施設一体型の小中一貫校等整備事業

本市では、これまで子どもの人数が減少している地域の学校において、施設一体型の小中一貫校化を進めてきており、現在は、蒲原地区において令和8年度の開校を目指して準備を進めています。また、藁科地域における学校再編事業にも取り組んでおり、第1段階として令和6年4月に3つの小学校が統合しました。



蒲原地区施設一体型小中一貫校外観イメージ



清沢小・水見色小・中藁科小の交流の様子

藁科地域施設一体型小中一貫校化に向けて、清沢小学校、水見色小学校、中藁科小学校が統合(令和6年4月)



これまでの取組等
【市HP】



適正規模・適正配置方針
(R5.3改定)【市HP】

令和6年度の主な取組

・蒲原地区施設一体型小中一貫校化に伴う管理棟解体工事・新校舎建設工事・調理場整備
・藁科地域施設一体型小中一貫校化に伴う校舎の基本設計・実施設計
・学校の適正規模・適正配置に関する相談窓口を設置(教育総務課教育政策係 TEL:054-354-2505)

教育の質の向上と働き方改革の推進

「働き方改革新プラン」を推進し、子どもたちへのきめ細かな指導体制を実現するとともに、教職員の長時間労働を是正し、子どもと向き合う時間や教職員の見聞を広げる時間を創出することで、教育の質を高め、子どもたちの資質能力の向上を図っていきます。

教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置

印刷業務や配布物作成等の業務を補助するスクール・サポート・スタッフを全校配置することで、教員が本来の業務に注力し教育の質を高めます。

令和6年度の主な取組 ・スクール・サポート・スタッフの全校配置



教員業務支援員の業務の様子



働き方改革プラン

静岡市型35人学級編制の実施

きめ細かな指導体制を実現するため、本市では小中学校の全学年で35人学級編制を実施しています。

令和6年度の主な取組 ・市立小中学校の全学年で35人学級編制を完全実施



35人学級編制による授業

非常勤養護教諭の配置

非常勤の養護教諭を大規模校に配置し、複雑かつ多忙化する養護教諭の役割を分担することで、児童・生徒へのよりきめ細かな支援を実現していきます。

令和6年度の主な取組

・児童・生徒数の多い学校のうち各区1校に配置

スクールロイヤー活用事業

学校現場で起こる様々な問題に対して、スクールロイヤー(弁護士)が法的観点から中立の立場で学校に助言することで、法的根拠に基づく適切で迅速な対応を行います。

令和6年度の主な取組

・学校からの法律相談を実施

学校給食費の適正化

学校給食費を教育委員会事務局が直接管理することで、会計の透明性を向上させ、教職員の負担を軽減し、教育の質を高めます。

令和6年度の主な取組

・学校給食費徴収・管理システム構築等の準備

共同学校事務室の設置

学校における事務部門の職務体制を整備し、事務職員が積極的に学校運営に参画することで、教職員の事務負担を軽減し、子どもたちの教育を充実させていきます。

令和6年度の主な取組

・学校間を繋ぐ横断的事務処理の実施

質の高い教職員の確保

教職の魅力発信(発掘)

教員を志す人を増やすため、県内の教員養成大学や静岡県・浜松市など他自治体と連携して、教職の魅力を発信していきます。



教員採用試験ガイダンス

令和6年度の主な取組

・オープンキャンパス等で若手教員によるセミナーの実施
・採用試験ガイダンスで現職教員による「先輩教員の話」を実施

しずおか教師塾の開催(発掘)

教育現場が抱える教育的ニーズに応える力を身に付け、教育公務員としてふさわしい人材を育成していきます。



しずおか教師塾【市HP】

令和6年度の主な取組

・開講期間8月～3月の18日間(土または日に実施)
・「主体性を高める」「柔軟性を伸ばす」ための講義や活動等の実施



第15期講座の様子

教員の採用(採用)

教育への熱意、使命感をもち、子ども一人一人の学びを最大限引き出し、人とつながる人間関係調整力をもった「教育にひたむきな教師」の採用に取り組んでいます。

令和6年度の主な取組

・社会人経験者を対象とした選考枠を新設 ・特別支援教育の推進を担当する者の積極的な採用
・英語等の資格や複数免許を所有する者等に加点措置を実施
・障がい者を対象とした選考を、一般選考試験とは別に実施



教員採用試験情報【市HP】

R7採用募集案内



学び続ける教職員、教育にひたむきな教師の育成(育成)

静岡市教員育成指標に基づき、「専門職としての力」「新たに教師に求められる力」等、教育にひたむきな教師を育成するための研修に取り組んでいます。

令和6年度の主な取組

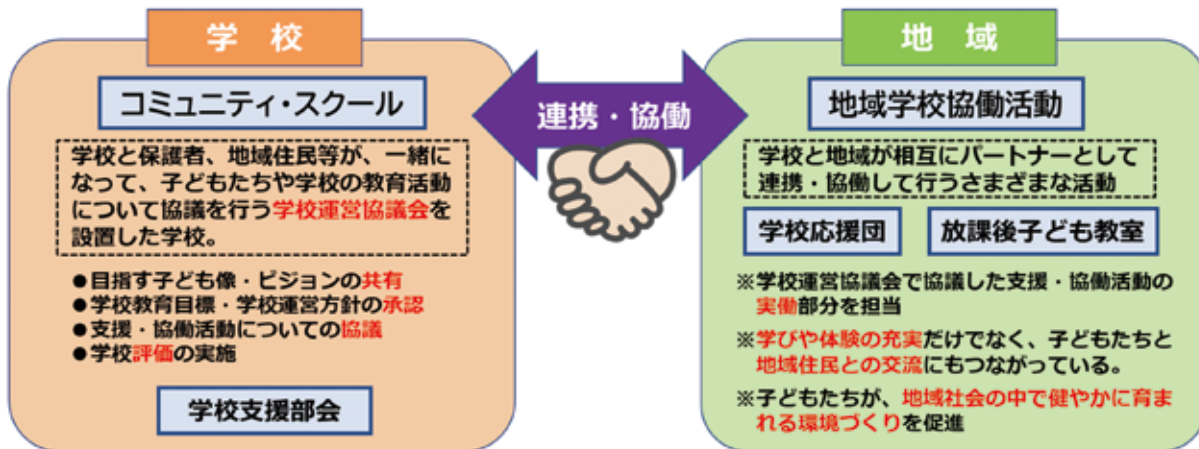
・初任者研修、中堅教諭等資質向上研修 等キャリアステージに応じた研修
・学習指導要領に対応した研修(授業づくり研修、教科指導力向上研修)
・全国教員研修プラットフォームを利用した主体的な教師の学びへの支援

JICA海外協力隊派遣事業

現職教員特別派遣制度を活用し、JICA海外協力隊へ本市教員を派遣することで教員の資質向上を図るとともに、帰国後自身の経験を教育現場等に還元することによる国際理解教育を推進していきます。

学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援

中学校区の学校・家庭・地域住民等が「学校教育目標」や「目指す子ども像」等を共有し、「地域とともにある学校づくり」や「学校・家庭・地域 総がかりの教育」を実現するため、「コミュニティ・スクールの導入」と「地域学校協働活動の推進」を一体的に進めていきます。



コミュニティ・スクール導入の推進

令和4年度から市内一斉スタートした「静岡型小中一貫教育」をベースに、全ての学校で地域との連携（よこのつながり）づくりを進める中で、「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールの導入を推進します。

学校と地域住民等が育てたい子ども像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて、ともに連携・協働することで、「地域とともにある学校づくり」を目指します。

令和6年度の主な取組

- ・学校運営協議会の導入の推進（各中学校区の課題に応じたコミュニティ・スクール導入支援、学校や地域の実態に応じた弾力的な実働組織づくり、ネットワークづくりの支援）



地域学校協働活動の推進

学校応援団活動と放課後子ども教室において、人材や活動のノウハウを共有し、学校と地域の連携・協働を推進することで、地域全体で子どもたちの健やかな育成を図ります。

「学校応援団」では、学習支援、登下校の見守り、花壇整備等様々な活動に年間19万人を超える地域住民の方々に参加していただいています。「放課後子ども教室」でも、保護者や地域の皆さんが主体となり、校庭遊びや各種体験活動・学習活動等が行われています。

令和6年度の主な取組

- ・学校応援団活動の推進…市内全小中学校で実施
- ・放課後子ども教室の実施
…小学校79校で実施し、そのうち67校では放課後児童クラブと一体的に運営
- ・協働活動の充実に向けた地域人材の配置
…36中学校区に統括的な地域学校協働活動推進員(R5:34中学校区)を、小学校81校に地域学校協働活動推進員(R5:83校)を配置
※藁科地区の学校統合により、小学校数2校減
- ・地域人材の継続的な発掘・育成
…“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座を実施し、学校支援活動に関わる地域人材を養成



地域学校協働活動推進事業
【市HP】



“学校・地域 ひとつなぎ”
コーディネーター養成講座
【市HP】



学校応援団(給食見守り)



放課後子ども教室(七夕飾り作り)

オクシズ放課後児童対策事業

令和6年4月の藁科地区3小学校の統合に伴って発生する課題「①下校時に路線バスの待ち時間が毎日発生すること」、「②学区が広がることで、放課後に児童同士の交流がしにくくなること」に対応するため、放課後子ども教室と放課後児童クラブを一括委託、一体実施し、放課後の時間に学校内で安全安心に過ごすことができる居場所づくりに取り組みます。

部活動改革の推進

部活動に代わる新たな地域クラブ「シズカツ」の試行

部活動は、これまで中学生のスポーツ・文化芸術活動を担い、魅力ある教育活動として実施されてきました。しかし、少子化に伴う学校規模の縮小により、部員不足や休廃部が増加しました。さらにはニーズの多様化、国の休日の地域移行などから、従来の学校単位で運営する部活動のままでは、子どもたちの有意義な活動を維持することが難しい状況です。

そこで、子どもたちが**学校規模に左右されず、スポーツ・文化活動に「親しみ、楽しみ、挑戦できる」機会を保障**するため、部活動に代わる新たな地域クラブ「シズカツ」の設置を目指しています。

※令和3年度から2年間に渡り、延べ7,581名の生徒や保護者、学校、種目団体への調査、実践研究の成果をもとに「部活動改革検討委員会」「総合教育会議」等を実施し静岡市の方向性を定めました。



部活動改革
【市HP】



シズカツ実証校 「オール長田 剣道」

エリアの分け		
緑① 城内中 栗中	緑② 大塚中 中島中	緑③ 清水一中 清水二中
緑② 観山中 安東中	緑③ 駿河① 長田西中 長田南中 城山中	緑④ 清水三中 清水四中 清水五中
緑③ 西奈中 龍爪中	緑④ 駿河② 高松中 南中	緑⑤ 清水七中 清水八中
緑④ 藤上中 魏機中 美和中 井川小中 玉川小中 梅ヶ島小中 大河内小中	緑⑤ 駿河③ 東豊田中 豊田中	緑⑥ 清水六中 清水飯田中
緑⑤ 木広中 藤橋中 安倍川中 葛科中 大川小中	緑⑥ 清水七中	緑⑦ 清水庵原中 清水袖原中
	緑⑦ 清水八中	緑⑧ 清水親津中 清水小島中 西河内小中 蒲原中 由比中

市内43校を15のエリアに分け

令和6年度の主な取組

- ・「シズカツ」実施方針の作成
- ・休日のシズカツの実証事業の実施 (R5:4クラブ⇒R6:20クラブ程度)
- ・シズカツの前段階として部活動のチームを「学校単位からエリア単位」へ編成するエリア制部活動の実施 (R5:23部⇒R6:47部(R6.3月現在))



図書館サービスの推進

電子図書館整備事業

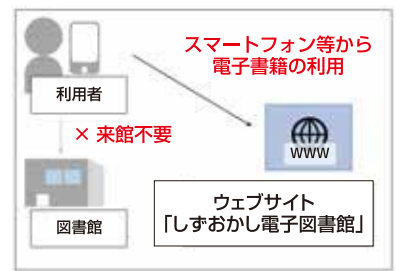
図書館ウェブサイト上で電子書籍を借り、スマートフォン等からいつでもどこでも読書ができる「電子図書館」を通じて、誰もが情報を入しやすく、市民の皆さんの暮らしや仕事、まちづくりに役立つ環境を整えていきます。

令和6年度の主な取組

- ・利用者を意識した電子書籍コンテンツの購入及び提供
- ・電子図書館の使い方講座の開催等、利用方法の周知、広報
- ・市政資料や地域資料など独自資料の電子化



しずおかし 電子図書館 ウェブサイト



電子図書館のイメージ

子ども読書活動の推進

国籍や育った環境、障害の有無にかかわらず、全ての子ども一人ひとりが自然に読書に親しむことができるよう、子どもの読書環境を整備することを総合的に進めていきます。

令和6年度の主な取組

- ・ブックスタート(絵本の配布等)
- ・子ども向け講座やおはなし会、中高生向けブックトークの開催
- ・こども園や学校への図書館資料の貸し出し
- ・バリアフリーの本を集めた棚(リンゴの棚)の充実
- ・移動図書館車による子ども園等への特別訪問の実施

図書館施設整備事業

老朽化の進む図書館から順次、必要な改修工事を計画的に実施し、市民が安全安心に利用できる環境を整備していきます。

令和6年度の主な取組

- ・蒲原図書館空調設備更新、雨漏り等改修

「藁科図書館の大改修を行いました!」



藁科図書館読書席(改修前)



藁科図書館読書席(改修後)

静岡市教育委員会事務局各課

課名等	所管する取組	電話番号 (054)
教育総務課	学校の適正規模化(相談窓口・施設一体型小中一貫校化)、 高等学校改革の推進、コミュニティ・スクール、 地域学校協働活動	354-2505
教職員課	教職員の働き方改革、スクール・サポート・スタッフ、 静岡市型35人学級編制、非常勤養護教諭の配置、 教職の魅力発信、しずおか教師塾、教員の採用	354-2509
教育施設課	小中学校特別教室空調設備整備事業、 小中学校体育館スポットクーラー設置事業、 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業	354-2514
学校教育課	学力アップサポート事業、静岡型小中一貫教育、 英語プロジェクト、しずおか学、部活動改革	354-2521
特別支援教育センター	特別支援教育の推進、外国人児童生徒支援	255-3600
児童生徒支援課	不登校・いじめ等対策(健康観察アプリの導入、 教育相談員・訪問教育相談員・スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカーの配置)、 校則の見直し、奨学金、就学援助、遠距離通学補助	354-2533
学校給食課	学校給食における有機・規格外農産物の活用事業、 静岡市のお茶を活用した食育の推進事業、学校給食費の適正化	354-2553
教育センター	教職員の育成、GIGAスクール構想の推進、学校図書館	251-3288
中央図書館	電子図書館整備事業、子ども読書活動の推進、 図書館施設整備事業	247-6711
市立高等学校		245-0417
市立清水桜が丘高等学校		353-5388
南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家		260-2761

静岡市教育委員会事務局 教育局 教育総務課

令和6年3月

〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号 TEL 054-354-2505